

銀行名	荘内銀行
タイトル	東北経済産業局と連携した取引先（鮮魚卸）の県外販路拡大による被災地支援
取組み内容	・ A 社は、生鮮水産物および加工品、一般加工食品などの卸売業、県内最大手。鮮魚においては全国に仕入れルートを保有し、多品種、大口ロットの取引が可能。県内での魚の消費量が落ち込む中、今年度より、商圈の拡大を図るため米沢営業所を活用し、福島県への販路拡大を狙っていた。当行支店にて、この情報をキャッチ、企業成長支援 G へ相談。 ・ 東北経済産業局の人脈で、本社会津若松のスーパーマーケット B 社、売上 47,000 M、40 店舗展開）へコンタクトを取り、企業成長支援 G で訪問。経営課題として、東日本大震災以降の食材安定仕入が課題となっていた。特に鮮魚に於いては、太平洋側からの仕入れが減少し、内陸で好んで食される赤身の魚などが安定仕入できない状況、安定供給できる企業を探していた。 ・ A 社、B 社の経営課題を整理し、鮮魚の安定仕入提案で両者をマッチング。それぞれの経営課題が解決するため取引を行うことになった。

銀行名	荘内銀行
タイトル	とうほくのみらい応援（６次産業化）ファンドを活用した被災地のアグリ・６次産業化支援
取り組み内容	・平成 23 年 3 月の東日本大震災により名取北釜地区の農家が甚大な津波被害を受けた。その際、被災農家が隣県である山形県の個人や企業から支援を受けたことが契機となり、農業を再開するにあたり、山形の企業をビジネスパートナーとすべく、農業再開するための資金調達や販路のマッチングについて当行へ相談。 ・7 戸の被災農家が名取市の補助金等使いながら、ハウス 144 棟で農業再開。補助金申請に際しても当行でサポート。 ・また、農業だけでなく、1 次加工等の 6 次産業化に向けた取り組みを開始すべく生産管理システムや商品パッケージ、販路については山形県内企業を紹介し、マッチングに成功。6 次産業の事業を開始するにあたり、単なるマッチングだけでなく、それら企業に資本面での協力を仰ぎ、とうほくのみらい応援（6 次産業化）ファンドを活用。 ・今後は 1 年目から 3 年目の第 1 フェーズを「生産基盤の確立」とし、4 年目から 7 年目の第 2 フェーズを「安定販路の確保（B to B） 直接販路の開拓（B to C）」とし、8 年目以降の最終フェーズを「2 次加工品の製造」と位置付け、更なる 6 次産業化と地域貢献を進めていく予定。 ・当行としてもこのような復興支援をロールモデルとして引き続き、6 次産業化ビジネスの支援を強化していく。

銀行名	荘内銀行
タイトル	特許庁事業たる知財ビジネス評価書作成支援を活用した事業評価に係る取り組み
取り組み内容	・ベンチャー企業の事業内容や今後の成長性等をこれまで以上に把握し、中長期的な視点に立った成長支援に取り組んでいくという趣旨から、特許庁事業である知財ビジネス評価書作成支援を活用して、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社について評価を実施。知的財産保護実施状況等の確認はもちろんのこと、より適切な事業性の評価を図っている。 ・本評価制度を活用した評価の実施は、東北の地方銀行で初の取り組みであり、産業創出により地方創生に資することが期待される学術機関発ベンチャーに対して、地域の金融機関として積極的に関わり事業化を支援していくもの。

銀行名	荘内銀行
タイトル	公益信託荘内銀行ふるさと創造基金
取組み内容	真に豊かで潤いのある地域社会を築くため、県内各地域の特性を活かした自主的・主体的な活動に助成金・顕彰金を贈呈する基金として平成 13 年に設立しました。「学校における教育的な活動」「地域住民と一体となった社会教育的な活動」「県内に伝わる文化的な活動」の 3 つのテーマに別け、それぞれの活動に資する取組を支援しています。 平成 24 年には、これら 3 つのテーマに基づいた助成先の中で、豊かな地域社会の創造に向けた独自の活動を展開し、活動の継続性と発展性の面で顕著な取り組みがあった団体を顕彰するため、「荘内銀行ふるさと創造基金地域貢献大賞」を設立しました。 平成 28 年度には過去最高となる 67 団体へ助成金を贈呈し、地域貢献大賞による顕彰先を加えた合計先数は 579 先、金額は 1 億円を超えるに至っています。

銀行名	荘内銀行
タイトル	スポーツ振興への取り組み
取り組み内容	山形県の野球振興に資するため、山形県野球場のネーミングライツスポンサーを平成 29 年 3 月まで日新製薬(株)様と共同で取得しています。 また、プロスポーツチームの応援を通じたスポーツ振興にも取り組んでいます。山形県に本拠地を構えるモンテディオ山形や楽天イーグルスのオフィシャルスポンサーとして、応援定期預金の販売や、冠協賛試合の開催、あるいは地域の小学生を対象とした教室も開催しています。 その他、「荘内銀行頭取杯」山形県少年選抜 U-10 サッカー大会、「荘銀カップ争奪」西村山ジュニア卓球大会の開催や、マラソン大会等のスポーツイベントへの協賛にも取り組んでいます。

銀行名	荘内銀行
タイトル	荘銀かねやま絆の森における森づくり活動
取組み内容	平成 22 年 3 月に山形県・地元林業者の有限会社三英クラフト・当行との間で三者協定を締結して以降、「荘銀かねやま絆の森」の森づくり活動に取り組んできました。 平成 27 年 4 月には、新たな協定締結者として金山町を迎え、第一回の森づくり活動を 5 月 30 日に実施しました。地域の小学生や住民の皆様約 50 名を含む、総勢 140 名が参加し、下草刈り、キノコの植菌、山菜料理などの地域料理体験、間伐材を利用したベンチ制作を行いました。制作したベンチは、参加いただいた小学生にプレゼントするなど、森づくり活動を通して地域との交流を図りました。 今後は、更に地域の活性化を意識した新たな森づくり活動を展開していく予定です。